

## 「歯痛は語る」～歯内療法はもっと歯髓の声を聴こう～

長谷川歯科クリニック 長谷川誠実（はせがわ まこと）

歯髓は、知覚、栄養、防御、象牙質形成の4機能を有し、文字通り歯髓と象牙質は一つの複合体として捉えられている。しかしながら、主として歯髓と象牙質を取り扱う歯内療法の進歩は、複合体どころか歯髓の存在を全く無視した、歯髓のない空洞を形作る技術論が中心で進んできたような感じを受けてならない。診断の進歩も、歯髓の知覚は多機能、超低閾値という特殊性をうたいながらも知覚を黙殺し、知覚にかかわりのない単なる保存の可否に特化したものと変貌した。一方、歯髓は様々な状況を歯痛という形で表現しているが、歯内療法は、歯痛を感染から生じる二次的存在と受け止め、知覚の問題も感染の問題に置き替えて論じて行く。もし、歯内療法が細菌学に偏在した思考方向だけでなく、歯痛を神経生理学的見地から取り入れ発展を遂げてきたのなら、おそらく現代歯内療法の潮流は異なったものになっていたに違いない。本講演において、徹底的に現代歯内療法を歯痛の観点から見つめ直してみようと考えた。

### 略歴

昭和 31 年大阪府生まれ

昭和 59 年岐阜歯科大学卒業

昭和 63 年朝日大学歯学部大学院歯学研究科歯内療法学専攻  
修了（歯学博士）

同年兵庫医科大学病院歯科口腔外科医員

平成元年兵庫医科大学歯科口腔外科学講座助手。

平成 7 年兵庫医科大学歯科口腔外科学講座講師

平成 27 年兵庫医科大学歯科口腔外科学講座退職

同年長谷川歯科クリニック開業（大阪市東淀川区）

### 学会

日本歯科保存学会（専門医・指導医、評議員）

日本歯内療学会（西日本歯内療学会常任理事）

口腔顔面神経機能学会（口唇・舌知覚異常判定認定医）

口腔顔面痛学会

日本運動器疼痛学会

## 開業医が安心してできるインプラント

（医）月星歯科クリニック勤務 月星太介

近年、患者の口腔内にインプラント治療が施術してある症例は少なくない。インプラントの成功率は10年以上経過で86%～95%と論文や報告により様々ではあるが、本当に安心して全ての患者に対し勧められるオプションだろうか。最近ではインプラント治療の増加とともに、粘膜炎やインプラント周囲炎の問題が浮き彫りになっている。このインプラント周囲炎はどのような原因から引き起こされるのか。その原因を知ることによってリスクを低下させ、また、予知性の高いインプラント治療が提供できるのではないだろうか。

手術環境や材料が限られている開業医が無理をせずに予知性の高いインプラント治療を提供するにはどのようなケースセレクション、治療計画を行わなければいけないのか。今回の講演では、症例と文献を通じてその可能性を検討していきたい。

略歴

2004年愛知学院大学歯学部卒

2009年大阪大学歯学部大学院卒

2012年 Loma Linda University advanced education in Implant Dentistry 卒

2013年～現在 医) 月星歯科クリニック勤務

歯科医師, 歯学博士,

大阪大学咀嚼補綴科 招聘教員

Loma Linda 大学インプラント科非常勤講師

American Academy of Implant Dentistry

Associate Fellow